

【技術紹介】 エピジェネティクス解析の新技术CUT&RUN、CUT&Tag

クロマチンプロファイリングは、ゲノムDNAと結合するタンパク質を解析し、遺伝子発現制御や細胞機能における役割を解明するための重要な技術です。従来法であるクロマチン免疫沈降 (Chromatin immunoprecipitation: ChIP) は、ホルムアルデヒド固定、クロマチン断片化、免疫沈降、DNA精製など、多段階の複雑な操作が必要でした。近年、より迅速かつ高感度なクロマチンプロファイリング技術として、CUT&RUN (Cleavage Under Targets & Release Using Nuclease) とCUT&Tag (Cleavage Under Targets & Tagmentation) が注目されています。CUT&RUNとCUT&Tagは、生細胞上で標的タンパク質に結合したDNA断片を直接解析可能であり、少ない細胞数、低バックグラウンド、迅速なプロトコルを可能にします。本セミナーでは、Cell Signaling Technology (CST) より講師の方をおよびし、CUT&RUNやCUT&Tag、ChIPそれぞれの特徴を比較し、実験目的やサンプルに応じた最適な手法の選択について解説いただきます。また、各手法の実験を成功させるための具体的なTipsやトラブルシューティングもご紹介いただきます。

皆様のお申し込みをお待ちしております。

日時： 2025年7月2日(水) 16:00-17:00

開催形態：オンライン(Zoom)

講師：阿部 晋也様
(セルシグナリングテクノロジージャパン株式会社)

言語：日本語

申込方法：以下のURLからお申込みください。

<https://forms.gle/oXz327eb2B2A7Rfm6>

締切：2025年7月1日(火) 13:00

* 締め切り後、申込者全員にZoom接続情報等をメールでお知らせします。

===== セミナーに関する連絡先 =====

京都大学大学院医学研究科 医学研究支援センター
遺伝情報解析室(担当: 出縄)

メール: infoseq@support-center.med.kyoto-u.ac.jp

URL: <https://support-center.med.kyoto-u.ac.jp/SupportCenter/dna>



京都大学医学研究支援センターはAMED事業「生命科学・創薬研究支援基盤事業(BINDS)」の支援のもとに活動を行っています。



申込